

令和6年2月9日

日本雑草学会特別シンポジウム「緑に沈む国、日本。誰が草刈りを担うのか」

—農村と都市からの報告と未来に向けた提言—

日本雑草学会は、全国的な問題になっている地域の雑草管理に関するシンポジウムを宇都宮市で開催します。農村では地域の人々が担ってきた除草作業が滞って雑草が生い茂り、里山も荒れ果てました。都市の緑地や未利用地の荒廃も人手不足と財源不足によるもので根源は同じです。アーバン・ベア出現の主要因も雑草問題とされています。その実態を知っていただくとともに、地域再生のために何ができるかを考えます。

1. 主催等

主催 一般社団法人日本雑草学会

共催 宇都宮大学 雑草管理教育研究センター、那須烏山市、一般社団法人里山大木須を愛する会

後援 栃木県、一般社団法人日本環境教育学会

2. イベント概要（詳細は別紙を参照して下さい。）

(1) 日 時 令和6年3月27日（水）13:00～16:30

(2) 会 場 ライトキューブ宇都宮 大会議室

(3) 参加費 無料

(4) 申込方法 次の申込先まで電子メールにてお申し込み（事前登録要）。

日本雑草学会宇都宮大会運営委員 conf2024@wssj.jp

3. シンポジウムに関連するポスター発表と企業展示を併催します。このため、少し早めの11時に開場します。

4. このシンポジウムは、一般社団法人日本雑草学会第63回大会（宇都宮大会）の一貫として開催するものです。

本資料は、農政クラブ、農林記者会、栃木県県政記者クラブに配布しています。

〈発送枚数 本紙を含め 計2枚〉

〈担当・問合せ先〉

日本雑草学会宇都宮大会運営委員会

（宇都宮大学 雑草管理教育研究センター内）

TEL : 028-649-8164（担当 小林）

FAX : 028-649-5155

E-mail : conf2024@wssj.jp

別紙

日本雑草学会特別シンポジウム
緑に沈む国、日本。誰が草刈りを担うのか
—農村と都市からの報告と未来に向けた提言—

入場無料

事前登録制

人口が激減する農村では、これまで地域の人々が担ってきた除草作業が滞って雑草が生い茂り、美しい景観は失われつつあります。生産の場だった里山も荒れ果て、人を寄せ付けない場所になってしまいました。一方、都市の緑地や遊休地も人手不足や財源不足で十分に管理ができず、景観のみならず防災上も問題が生じています。大きな話題になった都市に出没するクマやイノシシも、その要因は雑草問題にあるとされています。使われなくなった中山間地域は森に返せという意見もありますが、単に管理を放棄するだけで美しい極相に至るとは限りません。シンポジウムではこうした実態を、実際に雑草管理の課題に直面している方々からお話を伺うことで知っていただき、それを乗り越えて地域を再生させるために何ができるかを考えます。

主催：日本雑草学会 共催：宇都宮大学雑草管理教育研究センター、那須烏山市、里山大木須を愛する会
後援：栃木県、日本環境教育学会

場所と日時：ライトキューブ宇都宮大会議室 2024年3月27日（水曜日）13:00～16:30

[開場 11:00 閉場 16:40]

プログラム：（演題はいずれも仮題です）

挨拶 宇都宮大学理事・副学長 横田和隆 那須烏山市長 川俣純子

趣旨説明（宇都宮大学雑草管理教育研究センター 小林浩幸）

那須烏山市大木須地区における雑草管理と地域の再生（里山大木須を愛する会会長 川野邊 眞）

中山間地域の振興に向けた行政の取り組み（那須烏山市 深澤宏志）

休憩

国有地の雑草管理の現状と課題（財務省近畿財務局 平沢伸喜）

国道の雑草管理をいかに省力化していくか（国土交通省宇都宮国道事務所 西村篤史）

合理的な雑草管理を支える技術と地域の産業づくり（宇都宮大名誉教授 小笠原 勝）

総合討論（座長：宇都宮大学雑草管理教育研究センター 西尾孝佳）

協賛企業・団体の展示会場を併設します。こちらもぜひご覧ください。

お問合せ：日本雑草学会宇都宮大会運営委員会（宇都宮大学雑草管理教育研究センター内） conf2024@wssj.jp

参加登録 [https://docs.google.com/forms/d/1eOgmoHWN1EMD-](https://docs.google.com/forms/d/1eOgmoHWN1EMD-ZGC4K0I9V14SU0r-R9cpODHJ7mYYiE/edit)

[ZGC4K0I9V14SU0r-R9cpODHJ7mYYiE/edit](https://docs.google.com/forms/d/1eOgmoHWN1EMD-ZGC4K0I9V14SU0r-R9cpODHJ7mYYiE/edit)

